

2023年 1月26日

たてくるジオパーク

だより 第54号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー1 11ビル1階
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
f https://facebook.com/tatekuro

2023年 今年もよろしくお願ひいたします。



昨年中は、協会の活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。本年も変わらぬご支援をお願いいたします。

「みんなで作るジオパーク」という初心を改めて確認し、地域に根差したジオパークの活動ができるようにと願っています。

今年は第3期基本計画策定の年。会員の皆さんと一緒に第3期実施計画を考え、立山黒部ジオパークのよさを改めて見直し身近な自然や文化・歴史を楽しみたいものです。うさぎ年にあやかって、ぴょんと飛躍していけるそんなステキな年にしていけるよう、会員の皆さんや地域との絆を強めながら活動を進めていきたいです。

ぜひ、ツアーや講演会、ジオカフェなどいろいろな活動にご参加いただければ幸いです。



岩嶽雄山神社に奉納されたウサギの絵馬

<富山地方鉄道”立山黒部ジオパーク写真ギャラリー号”>

富山地方鉄道とのコラボにより、今年2月に『立山黒部ジオパーク写真ギャラリー号 “の運行開始”』&『ジオガイドによる電車内での解説』が実施されることになりました。ぜひご乗車いただき、展示空間でのジオパークをお楽しみください。



<富山地方鉄道からのお知らせ>

富山地方鉄道線全区間が立山黒部ジオパークのエリアであり、各ジオサイトと密接に関連していることから、これらの資源を活かしながら新たな広域観光を提案するため、富山地方鉄道株式会社と一般社団法人立山黒部ジオパーク協会が共同し、下記のとおり『立山黒部ジオパーク写真ギャラリー号』を運行いたします。

記

1. 運行期間 令和5年1月28日(土)～2月21日(火)
2. 運行路線 鉄道線全区間
3. 運行内容 ①“立山黒部ジオパーク写真ギャラリー号”には、立山黒部ジオパークのジオサイトや自然サイトの写真と解説が電車内中吊りで、ご覧いただけます。ただし、特別運行ではないので、運行時間はその日によって異なります。

②ジオガイド解説付きギャラリー号

*2/11(土)・2/12(日) 2/19(日)の3日間運行

【319列車】電鉄富山10:31発→立山11:35着(1日1本)

- ・立山黒部ジオパーク認定「ジオガイド」がギャラリー号に乗車し2両目後部において、寺田駅から立山駅間でジオパークの解説を行います。お聞きになれる場合は2両目の後方の座席にご乗車ください。
- ・同列車内において解説をお聞きになったお客様の中で希望される方は、立山駅到着後、立山黒部ジオパークの拠点施設『立山カルデラ砂防博物館』において、同館学芸員による館内展示解説を聞くことができます。

(同館入館料が団体料金に割引になります)



2019年運行：ヘッドマークが立山黒部GPのシンボルマークのジオパーク号



電車内の中吊り：サイトの解説



立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK



第3期基本計画・実施計画策定に向けて…ワークショップを開催しました

1月21日タワー111ビルに置いて、ワークショップを行いました。会員、協会役員、富山県、拠点施設学芸員、部会員など、たくさんの方の出席をいただき、立山黒部ジオパークのこれからの活動の方向や内容を考える有意義な場を持つことができました。



まず、今堀事務局長から第2期基本計画の総括を報告後、各部会長から第3期基本計画の骨子と実施計画の活動項目が提示されました。



その後の意見交換の場では、各自が意見を書いた付箋をもとに意見交換がスタート。参加者の皆さんが関心のある部会のテーブルに移動し、活発に議論が行われました。途中、参加部会の場やメンバーを変えることで、また違った視点から、話し合いが行われ、ジオパークの活動を支えてくださる皆さんの意見を直接伺うことができた良い機会でした。

ワークショップでいただいたご意見をもとに、優先順位をつけながら部会で原案を作成、策定委員会で再度基本計画・実施計画の案を作り、会員や支援自治体などジオパークに関わっていただいている方々に見ていただけるように進めていきたいと考えています。

以下に話し合われた様子を少しお伝えします。ご意見のある方は事務局の方へメールやお電話でお知らせください。お待ちしております。

企画部会・ツーリズム部会

<第3期活動項目>

- ・地域づくり…ジオフードの開発・市町村密着型地域間連携
- ・企業との連携…ジオというキーワードでの新しい事業開発
- ・SDGs…企業との連携、経済活動への貢献
- ・山岳ジオガイドによるツアーの開発、実践

<地域間連携>

- ・地域間連携の事例や企業のSDGsの取り組みの事例を紹介し、ジオ的な部分をヒモ付けする

<SDGs>

- ・立山黒部GPの特徴である「水」の利用についてジオとどう関係があるのか繋げていく

<事業者との連携>

- ・事業者の商品を地形や地質に基づく由来や特色、また逸話などに関連

付けてジオパーク地図にまとめる

- ・企業や団体、店舗と連携を組み、各地のジオフードをリストアップしてジオパークで紹介する

<ツーリズム>

- ・クイズとオリエンテーリングを結び付けたゲーム的なツアーやサイクリングのイベントなど、旅行会社に旅行商品を作ってもらう

- ・具体的にテーマごとにツアーを組む。「水」のジオツアー 酒蔵の水を比較する等お酒のツアー、鉄道などに関連させたツアー、市町村観光協会と連携したツアー、防災士会や市町村と連携した防災ツアー、見聞録ツアー等を計画する



研究教育部会

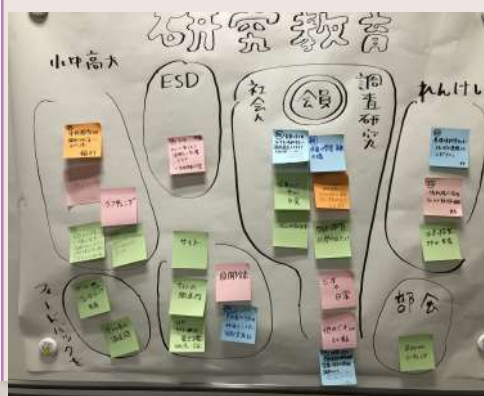
<第3期活動項目>

- ・小中高大学生対象の教育
- ・ESD・ジオ教育の推進
- ・エリアに関連した調査、研究
- ・学会への参加
- ・部会運営…ミーティングの実施



<小中高大学生対象の教育>

- ・学校教育との関わり深いイベントを行う
- ・親と一緒に体験活動を伴ったツアーやイベントの実施
- ・高校生対象の出前授業を増やす



<ESD>

- ・地震など防災の情報を提供していく
- ・立山の温暖化について研究を進める、気候変動対策の提案

<サイト>

- ・見聞録を活かす
- ・サイトの関連性を示す横のつながりを映像や写真などで見える化する

<社会人・会員>

- ・一般会員でもできる身近で気軽な発表の場を設け、日常の中のジオを見つけて参加してもらう

<連携>

- ・県環境科学センター、博物館と資料を共有したり、講師を派遣したりする
- ・博物館で使えるフィールド教材の開発



立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK



ジオガイド人材育成部会

<第3期活動項目>

- ・ジオガイドのスキルアップ
- ・博物館施設との連携強化
- ・山岳ガイドとの連携

<ツアー>

- ・防災知識の普及・啓発を行い、防災士と連携し防災ツアーを実施する
- ・ガイド養成に時間をかけ過ぎず、ガイド主催の実際のツアー、ジオパーク散歩をもっと実施する
- ・平地での県外向けのガイドツアーや業種に関連した建築、土木、農林水産者向けのジオガイドを行う



<ガイド>

- ・たてくろを語る人、ボランティアで話す人を増やす
- ・山岳ガイドとの違い（ガイド対象エリア）を明確にし、山岳ガイド協会と連携をとる
- ・HP上のガイドのプロフィールを更新する
- ・研修講師の質を高める

広報啓発部会

<第3期活動項目>

- ・最新技術活用（メタバースによる情報体験）
- ・情報発信の改善
- ・JGNを通じての活動情報の発信

<情報発信>

- ・月発行しているたてくろだよりの有効利用を。支援自治体や企業のイントラネット、職員が見ることで認知を広げられる
- ・自治体の広報誌、町内会や公民館にまわす
- ・広範囲であることから各地を一度に理解できないので、各年度に重点を決めて広報を行う
- ・HPをもっと見やすくし季節ごとのサイトなどの情報をのせてほしい
- ・SNS発信、YouTubeの活用



<メタバース>

- ・一つ一つのサイトだけでなく、立山黒部GP全体を俯瞰できるものがほしい

<写真展>

- ・テーマを決め一般の方が参加できるものを実施する

保全部会・組織強化

<第3期活動項目>

- ・ジオツーリズムの実施
- ・防災知識の普及啓発
- ・部会の活性化
- ・新規会員の加入促進
- ・JGN イベントへの参加



<会員拡大>

- ・数値目標を具体的に挙げないと実現していけない。How toも必要
- ・加入のメリットをつくる。企業として法人会員になったら利益が上がるのか？企業にとってメリットがある事業を優先して行うことで収入等を得ることを考えていく
- ・経営環境に配慮しているということをオープンにしていかななくてはならない時代。ジオパークと一緒に連携することで、環境に配慮しているという事例やストーリーを作ってアピールできるようにする

・個人会員に協会の活動をPRしていく。会員一人一人に協会独自のイベントを企画し、情報を発信する仕組みを作り世間にアピールすることが必要

<保全>

- ・保全とジオツアーを両立させる保全ツアーを企画・実施する
- ・SDGsと保全をテーマにしたプログラムやイベントを小中学校向けにつくる



<中尾哲雄会長より>



ジオパークになってから8年余りを経て、第3期の計画を立てるという段階に来ている。支援自治体の首長さん方には、助成金をいただいていることに関して毎年の活動報告とともにお礼をきちんと伝えたいと考えている。

ジオパークではSDGsとふるさとを愛する心の教育を目標に掲げてきた。富山県成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」の幸せというのは、お金ということもあるが、素晴らしい自然に囲まれた環境の中に生きているということが、幸せであるということだと思う。

今日の話し合いの中で「連携・コラボ」が挙げられていたが、いろいろな企業が持っているいいところや共通点をつなぎ合わせて連携していくことが大事である。

ジオパークの情報を企業のネットワークの中に広げていくという話が出た。企業に限らず富山県、富山市他各自治体職員の皆さんにも活動を知ってもらってジオパークの認知度を高めるべきである。そうすることで会員も増えるのではないだろうか。ぜひ企業や自治体との連携を進めてほしい。

今後、策定委員会で作られた案をまた皆さんに見ていただくとともに他のジオパークの案からも学びながら、第3期基本計画・実施計画を練り上げてほしい。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



開催事業のお知らせ

☆富山県【立山博物館】 冬の立山曼荼羅特別公開展「描きかえられた!? 立山曼荼羅」

「立山曼荼羅」の中には、絵が描きかえられているものもあります。本展示では「立山曼荼羅」坪井家A本（個人蔵）と「立山曼荼羅」立山黒部貫光株式会社本（立山黒部貫光株式会社蔵）の描きかえられた場面をそれぞれ紹介します。

なぜ曼荼羅の絵が描き変えられたのか？博物館へお越しになってその秘密をご覧ください。

会期：令和4年12月13日（火曜日）から令和5年2月26日（日曜日）

会場：立山博物館展示館 2階常設展示室内

会期中の休館日：月曜日（1月9日は開館）、1月10日（火曜日）、2月15日（水曜日）、2月24日（金曜日）

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

料金：常設展示観覧料 300円（大学生以下と70歳以上の方は無料）



立山曼荼羅特別公開展「描きかえられた!? 立山曼荼羅」

坪井家A本の「立山曼荼羅」複製より

立山曼荼羅の中には、絵が描きかえられているものもあります。本展示では「立山曼荼羅」坪井家A本（個人蔵）と「立山曼荼羅」立山黒部貫光株式会社本（立山黒部貫光株式会社蔵）の描きかえられた場面をそれぞれ紹介します。

会期 12.13(火)～2.26(日)

会場 立山博物館展示館 常設展示室2階

開館時間 月曜日(12/14)開館、祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)、2/15(水) 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

観覧料 常設展示観覧料 300円 (大学生以下と70歳以上の方は無料)

富山県立山博物館

☆富山県自然保護協会 調査活動報告会&冬の水鳥観察会のお知らせ

調査・活動報告会

協会の方々には観察会や調査研究活動を通して知られざる研究分野をお持ちです。その取り組みの一端を披露していただきます。今年は会員プラス、小学生の発表もありますよ。

期日：令和5年2月12日（日）13:00～16:10

会場：KNB 入船別館 1階会議室

- 内容：1「アルペンルートの植栽、ミヤマハンノキの除伐」
2「富岩運河について」
3「虫こぶの研究」
4「何故ここに、ミズバショウ自生地」
5「海岸清掃」
6「モリアオガエルの観察」

野鳥観察会

期日：令和5年2月11日（土）9:15～11:30

会場：富岩運河環水公園

申し込み方法、参加費、持ち物等詳しいことについては、富山県自然保護協会のホームページをご覧ください。

<https://tkshizen.wordpress.com/>

*申し込み締め切りは、2月6日です。

NPO 法人富山県自然保護協会主催 冬の水鳥観察会のご案内

富岩環水公園は街中にありながらも、冬季は多くの渡り鳥（カモ類やカモメ類など）がゆうゆうと泳ぎ回り、餌（水草）を摂る様子が観察できます。また、カイツブリやオオバンのように潜水して餌を摂る水鳥も観察することができます。運がよければ、パンダのような配色のミコアイサに出会えるかも知れません。

講師の方々の解説を聞きながら、多くの水鳥たちの様子を観察したいと思います。

- 期日：令和5年2月11日（土）祝日
9時15分集合 11時30分解散予定
- 集合場所：富岩環水公園 野鳥観察会
- 参加費：300円（会員及び家族は100円）
- 持ち物：筆記用具、図鑑、双眼鏡（8倍位）等
- 参加申込み：ハガキ、電話、FAX、Eメールのいずれかでお知らせください。

参加者氏名、年齢（保険加入のため）住所、性別、電話番号
申し込み期日：資料の都合上、2月6日（月）までにお申し込みください。（当日参加可）
申込先：富山県自然保護協会事務局
〒930-0805 富山市湊入船町3-30 KNB入船別館
電話・FAX 076-441-0099
E-mail: tkshizen@ybb.ne.jp

※当日は、小雨、小雪でも実行いたします。暖かい服装でお越しください。
※当日の連絡先 090-8812-3509（浜田）

家族や友人とのご参加をお待ちします



<編集後記>

皆さんはお正月にご家庭でお雑煮を召し上がられたことと思います。

お雑煮は郷土色が濃く出る献立といわれていて、富山県内でもお雑煮の種類は様々です。角餅に醤油味の澄まし汁仕立てはあまり変わりませんが、新川や新湊の方では、焼き魚や野菜などが入った具だくさんのお雑煮、富山県中央部はエビやとり（かしわ）と野菜のお雑煮、砺波の方ではネギや三つ葉をのせたのみのシンプルなお雑煮など、それぞれに特徴があります。平野が少ないため漁業に従事する人が多かった新川、お正月を豊かに祝った富山、浄土真宗の影響を受けた県西部など、その土地の生活・文化や風習が反映していると言えるでしょう。お嫁に行ったら、県内なのに、お雑煮が全く違ってびっくりしたという話をよく聞きますが、それも時代の流れとともに移り変わっているようです。会員の皆さんのお住いの地域のお雑煮はいかがでしょう？富山県の伝統的な食文化を残していけるといいですね。

会員の皆さんの楽しく充実した仕事や活動がより良き成果を結ぶ1年とになりますように。ぜひ一緒にジオパークの活動を楽しみましょう。

←写真：フクラギの身が入った新川地区のお雑煮



立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK

